

第2章 調査結果の概要

I 調査結果の概要

1 主な共通項目の比較

一般調査、ニーズ調査、認定者調査の各調査において、同様の質問をしているものを抜粋し、共通項目として比較したうえで、テーマ別にまとめた。

調査票の回答者について、「本人」の回答は、一般調査では85.7%、ニーズ調査では88.2%、認定者調査では50.7%となっている。

(1) 家族構成と住まいの状況

「ひとり暮らし」は、一般調査では26.5%、ニーズ調査では27.7%、認定者調査では30.5%となっている。

日中独居の状況について、「一人で過ごすことはあまりない」は、一般調査では51.2%、認定者調査では40.0%となっている。また、「昼夜とも一人で過ごすことが多い」は、一般調査では19.3%、認定者調査では28.7%となっている。

「災害時や緊急時に一人で避難することができる」は、一般調査では83.7%、認定者調査では27.5%となっている。

住まいの形態は、「持ち家（一戸建て）」「持ち家（集合住宅）」を合わせると、一般調査では75.6%、認定者調査では73.3%となっている。また、住宅で「特に困っていることはない」は一般調査では63.6%、認定者調査では54.1%となっている。

(2) 医療と介護保険制度

かかりつけ医は、「区内にある」が一般調査では66.1%、認定者調査では75.8%となっており、かかりつけ歯科医は、一般調査では64.8%、認定者調査では62.2%となっている。また、かかりつけ薬剤師（薬局）は、一般調査では63.4%、認定者調査では77.2%となっている。

病気やけがで長期の療養が必要となり、通院が困難になった場合に、在宅療養を「希望する」は、一般調査では28.3%、認定者調査では27.5%となっている。また、「希望するが、難しいと思う」「希望しない」と回答した人の理由は、「家族に負担をかけるから」が最も高く、一般調査では67.0%、認定者調査では70.2%となっている。

介護保険制度について、介護保険料とサービスは、一般調査、認定者調査ともに「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状程度とするのがよい」が最も高く、一般調査では31.2%、認定者調査では35.7%となっている。

介護保険料の額は、「かなりの負担である」「やや負担である」を合わせると、一般調査では57.1%、認定者調査では44.6%となっている。また、「妥当な額である」「負担には感じない」を合わせると、一般調査では20.8%、認定者調査では26.4%となっている。

今後希望する暮らし方は、一般調査、認定者調査ともに「介護サービスを利用して自宅」が最も高く、一般調査では32.1%、認定者調査では39.5%となっている。認定者調査では、「家族の介護を受けて自宅」の21.0%を合わせると、「自宅」での介護を希望する人が60.5%となっている。

(3) 地域とのかかわり・地域住民によるサービス

一般調査では、地域で支援を必要とする高齢者の支え手として「すでに活動している」「(活動したいと)思う」を合わせると25.2%となっている。一方、「わからない」「思わない」を合わせると68.3%となっている。さらに、高齢者の支え手としてできることは、「話し相手」「見守り」「買い物」といった支援が上位となっている。

認定者調査では、地域住民による生活支援のサービスを「利用したい」が28.3%で、利用したいものは、「部屋の掃除、風呂の掃除」「買い物」「通院の付添・介助」が上位となっている。

(4) 認知症と成年後見制度

認知症になった(かもしれない)ときの家族以外への相談意向は、「相談したい」が一般調査では67.7%、認定者調査では60.1%となっており、相談先としては、「かかりつけ医、近所の医院」が最も高くなっている。

認知症に「関心がある」は、一般調査では82.5%、認定者調査では76.7%となっており、そのうち関心があることは、「予防に効果的な方法」が最も高くなっている。

成年後見制度の認知度は、「名前も内容も知っている」が、一般調査では30.4%、認定者調査では20.6%で、利用意向については、「利用したい」が一般調査では25.0%、認定者調査では23.4%となっている。

(5) 生きがいについて

「生きがい」を感じていることは、一般調査では「旅行や買い物などの外出」が43.6%で最も高く、次いで「働くこと(自営・家事などを含む)」「テレビやラジオの視聴」の順となっている。ニーズ調査では「テレビやラジオの視聴」が54.8%で最も高く、次いで「食事をする事」「旅行や買い物などの外出」の順となっている。

(6) 区の高齢者福祉施策

区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策は、一般調査、認定者調査ともに、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」「介護している家族の負担の軽減」が上位となっている。また、一般調査では「健康づくりや介護が必要にならないための支援」、認定者調査では「デイサービスやショートステイなどを実施する施設の充実」がそれに続いている。

2 その他のテーマ別にみた調査結果

その他、一般調査、ニーズ調査、認定者調査の各調査において、主要な結果を抜粋し、テーマ別にまとめた。

(1) 健康状態

健康状態について、一般調査では、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると 80.8%、ニーズ調査では、「とてもよい」「まあよい」を合わせると 74.1%となっている。

どの程度幸せかを聞いた幸福感（10点満点）については、ニーズ調査では「4～7点」と「8～10点」がともに 42.2%となっている。

(2) 社会参加と地域活動

一般調査では、この1年間で地域活動等に「参加した」が 47.5%で、活動内容は、「趣味や教養活動」「健康づくり・スポーツ活動」が上位となっている。

ニーズ調査では、地域での活動で参加している会・グループ等のそれぞれの参加率は、「趣味関係のグループ」が 25.6%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が 20.9%、「町内会・自治会」が 18.7%となっている。地域活動への参加者としての参加意向は、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると 54.7%となっており、企画・運営（世話役）としての参加意向は、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると 36.1%となっている。

(3) 就労状況

一般調査では、「仕事をしている」が 44.7%となっており、年齢別では、「仕事をしている」が『65～69歳』は 60.5%、『70～74歳』は 50.8%となっている。また、今後の就労意向は、「自営業」「正規の職員・従業員」「会社等の役員」「契約・派遣・臨時・パート」「シルバー人材センターを通じた仕事」「その他」を合わせると 48.9%で、年齢別にみると、高齢になるにつれて仕事をしたい割合は少なくなる傾向にあるが、『85歳以上』は「仕事をしたい」との回答が 29.0%となっている。

(4) 生活状況

一般調査では、ふだんの食事の用意は「自分が調理」が 53.2%となっている。家族・親族・知人等との会話は「ほぼ毎日」が全体では 78.7%となっているが、ひとり暮らしでは 48.6%となっている。1週間の外出の頻度は、「ほぼ毎日」が全体で 56.7%となっており、65～69歳では 66.1%、75～79歳では 60.5%となっている。

また、ニーズ調査では、「自分で食品・日用品の買い物をする」は 84.0%、「週5回以上外出している」は 47.9%となっている。

(5) 日頃の生活で不安に感じる点

一般調査では、日頃の生活で不安に感じる点は、「ご自身や家族の健康や病気のこと」が 56.7%で最も高く、次いで「ご自身や家族が寝たきりや身体が不自由になり、介護が必要な状態になること」「自然災害（台風、地震等）や火災などの緊急事態が発生すること」の順となっている。

(6) 介護予防

一般調査では、介護が必要にならないために「心がけていることがある」は90.9%で、そのうち「1日3食食べる、栄養バランスに気をつけている」が最も高く、次いで「散歩や体操など定期的に身体を動かす」「かかりつけ医に定期的に診てもらおう」の順となっている。

介護予防教室に「参加してみたい」は63.5%で、そのうち参加してみたい教室は「膝痛や腰痛の対策・予防」「運動機能向上」「認知症予防やうつ予防」が上位となっている。

(7) 介護保険サービスの利用状況・利用意向

認定者調査では、介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が67.7%で、利用している場合のケアプランの満足度は、「満足している」「ほぼ満足している」を合わせると76.4%となっている。希望どおりにサービスが利用できているかどうかについては、「ほぼ希望どおりに利用できている」が72.8%となっている。

また、利用していない場合の理由は「自分で何とか生活できるため」が58.0%、次いで「家族が介護してくれるため」が25.8%となっている。

介護者が望む介護の形態では、「自宅で介護保険サービスと家族等の介護を併用する」「自宅で主に介護保険サービスを利用する」「自宅で家族や親族が介護する」を合わせると、「自宅」を望む人が46.0%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設を利用する」が10.9%となっている。

介護者が望む支援やサービスでは、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が30.7%で最も高く、次いで「必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設」「介護に関する相談支援の充実」の順となっている。

(8) 介護者の状況

認定者調査では、介護してくれる家族の有無は「いる」が63.0%、一方、「家族はいるが、介護してもらっていない」「家族はいない」を合わせると26.7%となっている。主な介護者の年齢は「65歳以上」が43.7%、健康状態は「健康」「持病はあるがおおむね健康」を合わせると66.3%となっている。

就労状況では、仕事が「あり」は44.5%となっている。そのうち、働き方の調整については、「特に行っていない」が34.3%、一方、労働時間、休暇取得、在宅勤務など、何らかの「働き方の調整をしている」は、39.8%となっている。

介護のために「仕事を辞めた」「転職した」人は12.0%、離職した理由は、「仕事と介護の両立が難しいから」が最も高くなっている。一方、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は39.9%となっている。

介護保険サービスの利用による介護者の負担は、「大いに負担が軽くなっている」「多少は負担が軽くなっている」を合わせると45.4%となっている。

II 共通調査項目

「n」は各設問に該当する回答者の総数（人）であり、回答率（%）の母数をあらわし

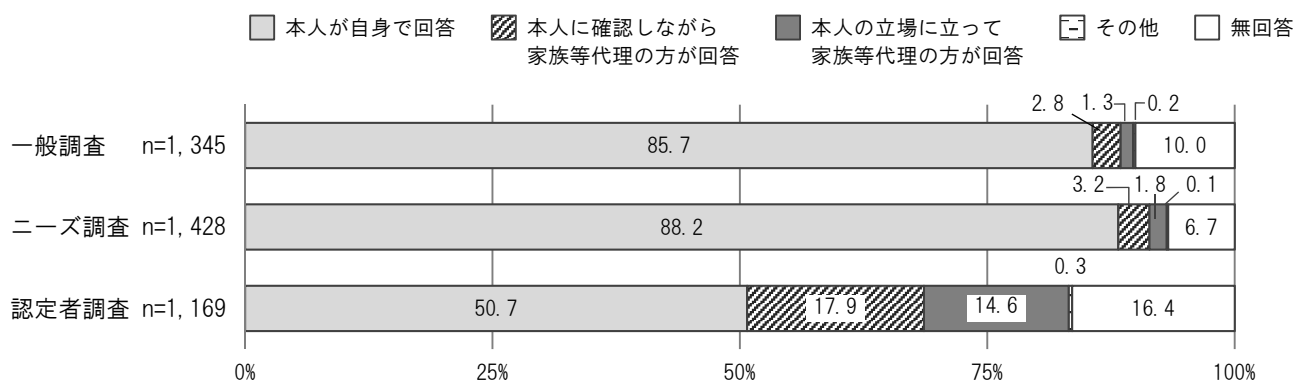
一般調査、ニーズ調査、認定者調査の各調査において、設問が同様である主要な結果を抜粋し、比較を行った。各 2,000 人を対象に調査を行い、一般調査 1,345 人、ニーズ調査 1,428 人、認定者調査 1,169 人から有効回答を得られた。

1 回答者の属性

(1) 調査票の回答者

▶ 調査票の回答者は、「本人が自身で回答」が『一般調査』85.7%、『ニーズ調査』88.2%、『認定者調査』50.7%

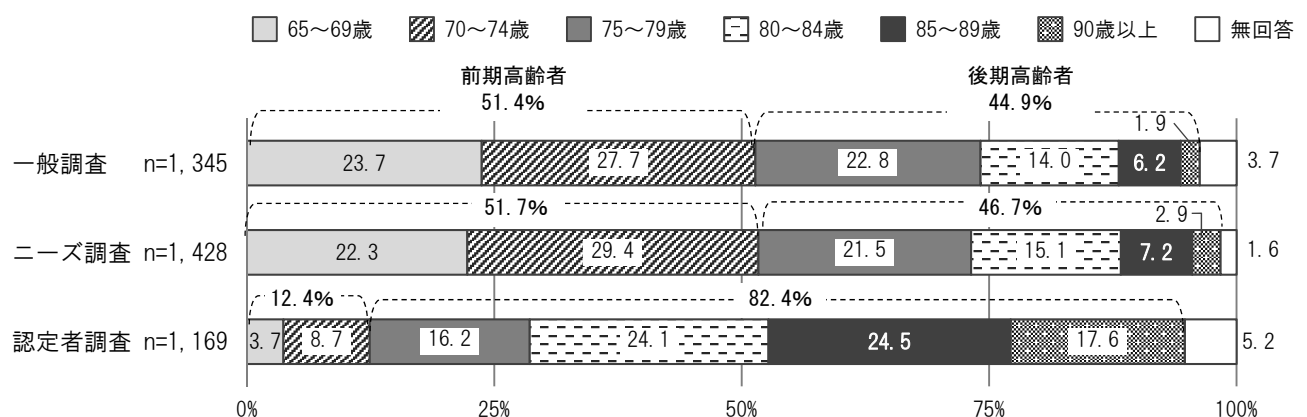
図表 2-1 調査票の回答者〔問 1〕



(2) 年齢

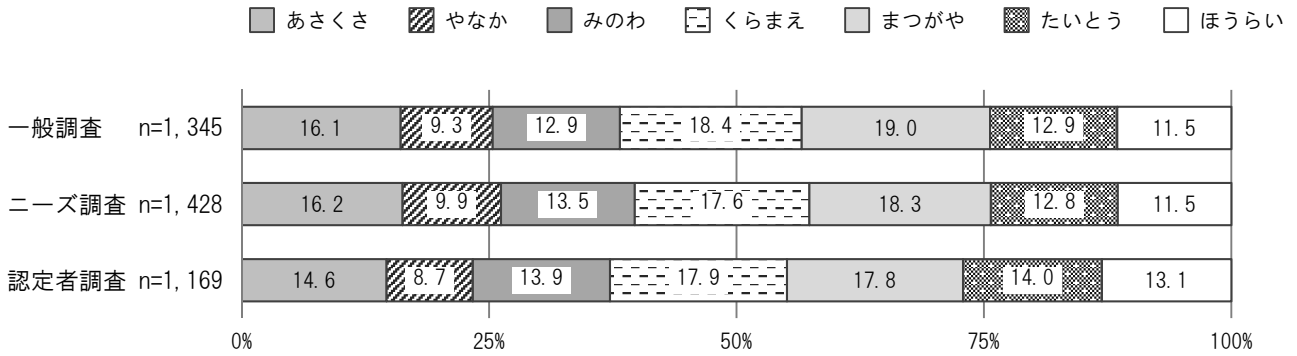
▶ 回答者の年齢は、前期高齢者が『一般調査』51.4%、『ニーズ調査』51.7%、後期高齢者が『認定者調査』82.4%

図表 2-2 年齢〔問 2〕



(3) 居住地域

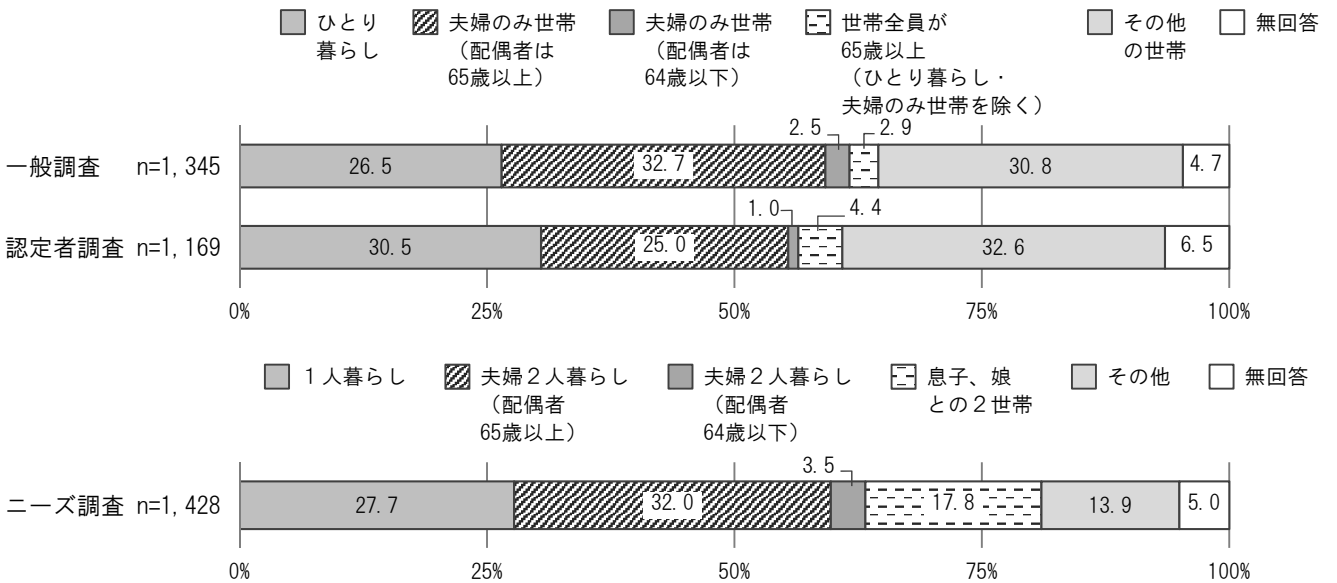
図表 2-3 地域包括支援センター区域〔問3〕



(4) 家族構成

▶ 家族構成は、「ひとり暮らし」が『一般調査』は26.5%、『認定者調査』は30.5%、『ニーズ調査』は27.7%

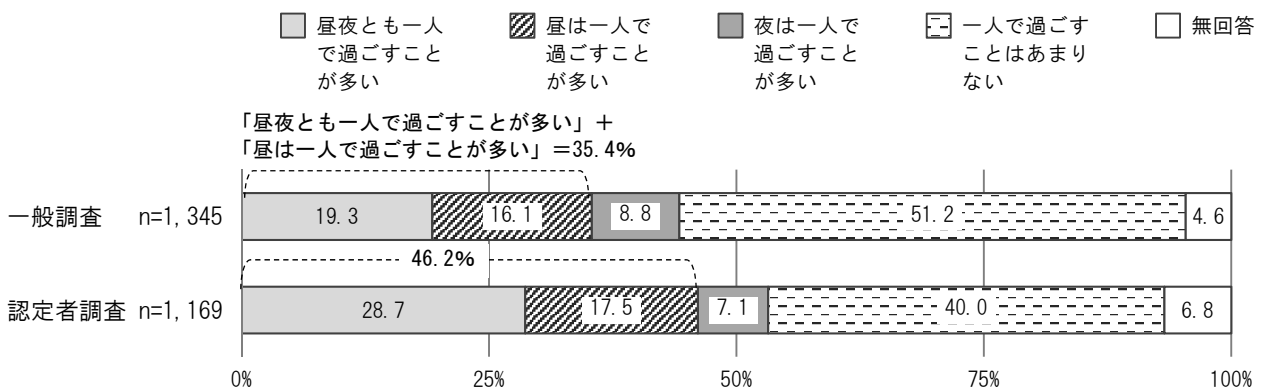
図表 2-4 家族構成〔一般：問4、認定者：問4、ニーズ：問4(1)〕



(5) 日中独居の状況

▶ 日中独居の状況は、「昼夜とも一人で過ごすことが多い」「昼は一人で過ごすことが多い」を合わせると『一般調査』が 35.4%、『認定者調査』が 46.2%

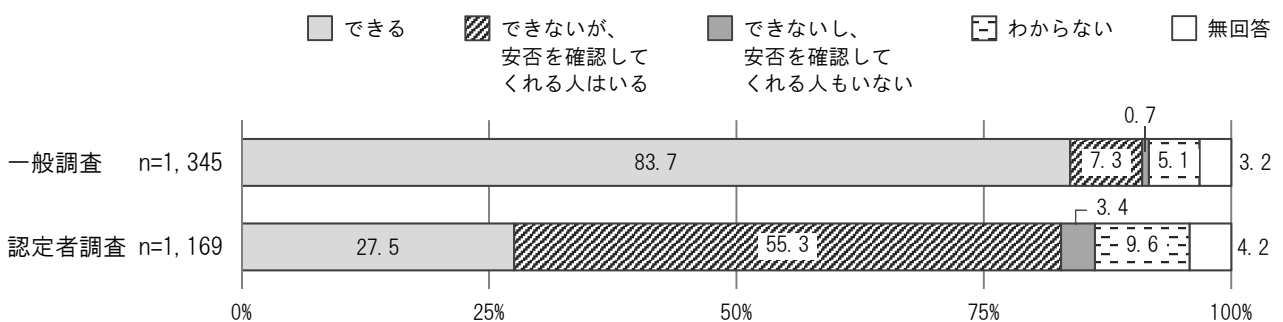
図表 2-5 日中独居の状況〔一般：問5、認定者：問7〕



(6) 災害時（台風や地震等）や火災などの緊急時に一人で避難すること

▶ 緊急時に一人で避難できるのは、『一般調査』が 83.7%、『認定者調査』は 27.5%

図表 2-6 災害時や緊急時に一人で避難すること〔一般：問7、認定者：問9〕

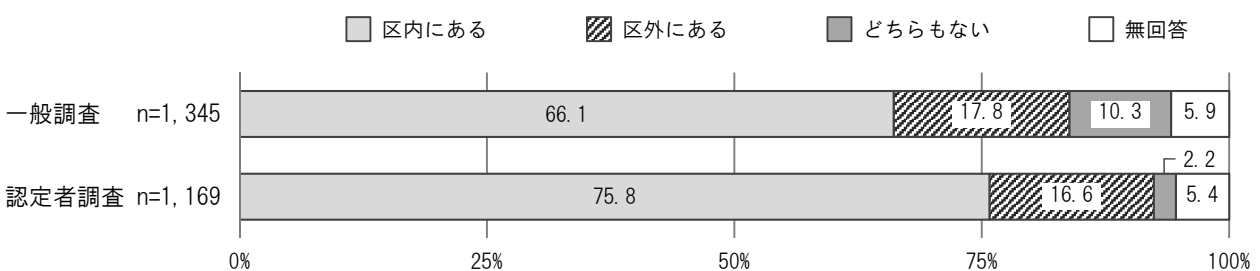


2 かかりつけ医等について

(1) かかりつけ医の有無

▶ かかりつけ医が区内にあるのは、『一般調査』が 66.1%、『認定者調査』は 75.8%

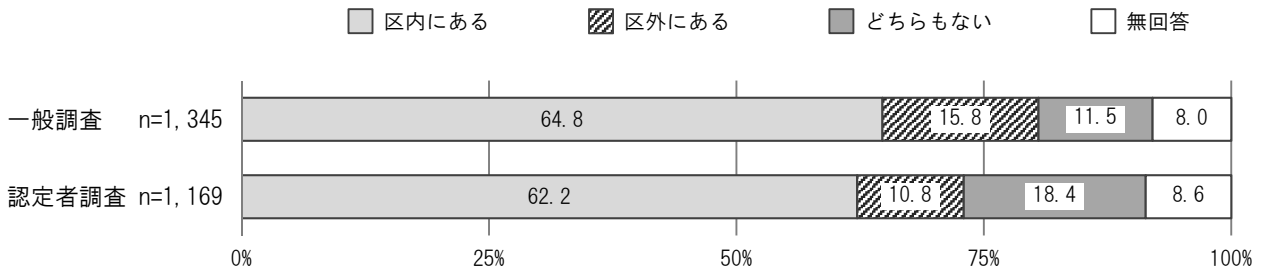
図表 2-7 かかりつけ医の有無〔一般：問12①、認定者：問15①〕



(2) かかりつけ歯科医の有無

▶ かかりつけ歯科医が区内にあるのは、『一般調査』が 64.8%、『認定者調査』は 62.2%

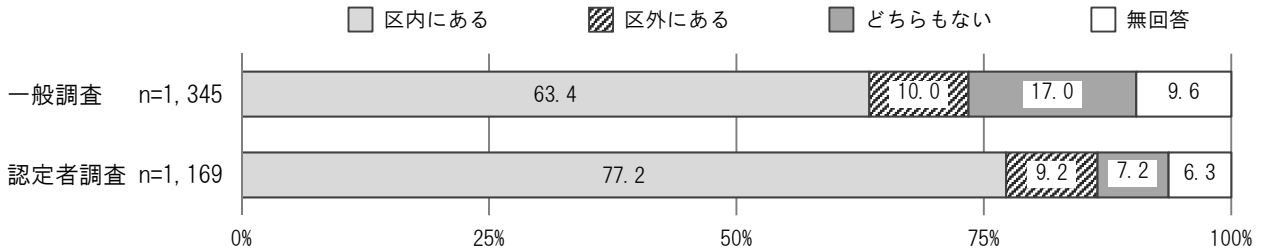
図表 2-8 かかりつけ歯科医の有無〔一般：問 12②、認定者：問 15②〕



(3) かかりつけ薬剤師（薬局）の有無

▶ かかりつけ薬剤師（薬局）が区内にあるのは、『一般調査』が 63.4%、『認定者調査』は 77.2%

図表 2-9 かかりつけ薬剤師（薬局）の有無〔一般：問 12③、認定者：問 15③〕

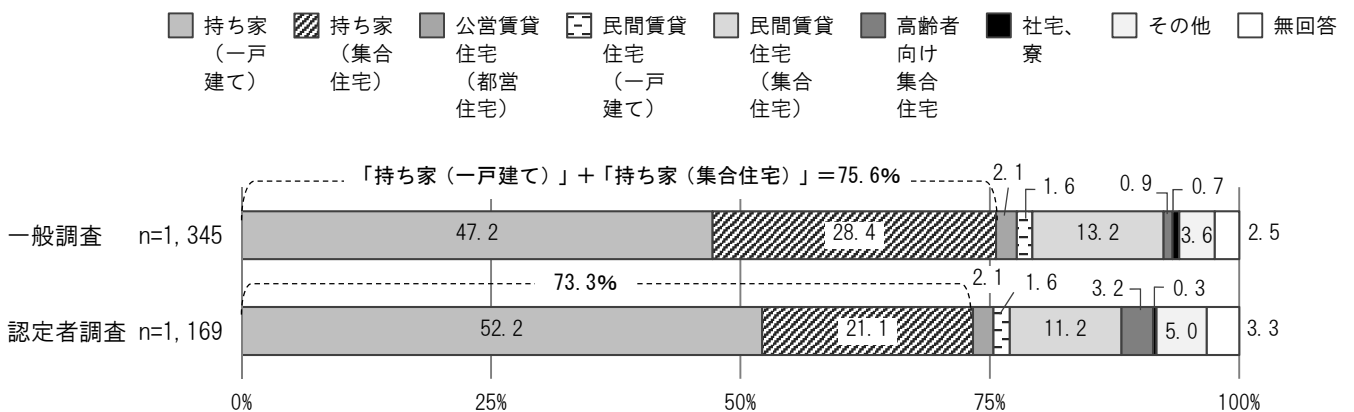


3 住まいについて

(1) 住まいの形態

▶ 住まいの形態は、『一般調査』では「持ち家（一戸建て）」が 47.2%、「持ち家（集合住宅）」は 28.4%で合わせると 75.6%、『認定者調査』では「持ち家（一戸建て）」が 52.2%、「持ち家（集合住宅）」は 21.1%で合わせると 73.3%

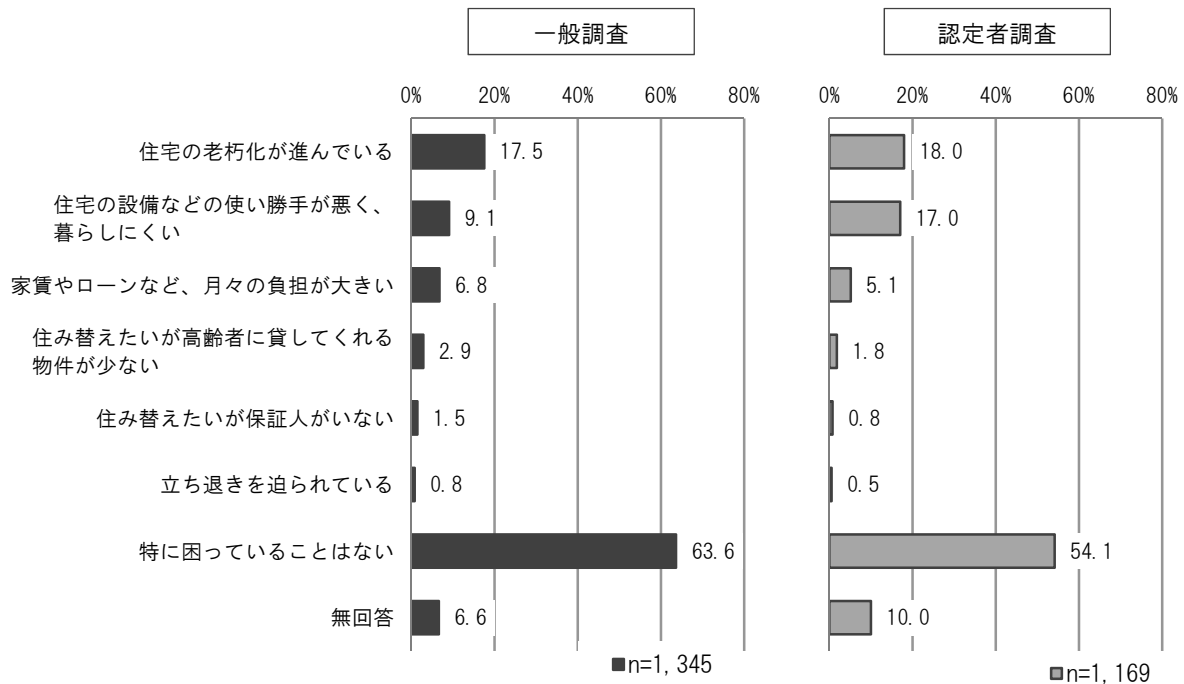
図表 2-10 住まいの形態〔一般：問 13、認定者：問 16〕



(2) 現在の住宅で困っていること

▶住宅で「特に困っていることはない」は、『一般調査』が63.6%、『認定者調査』は54.1%

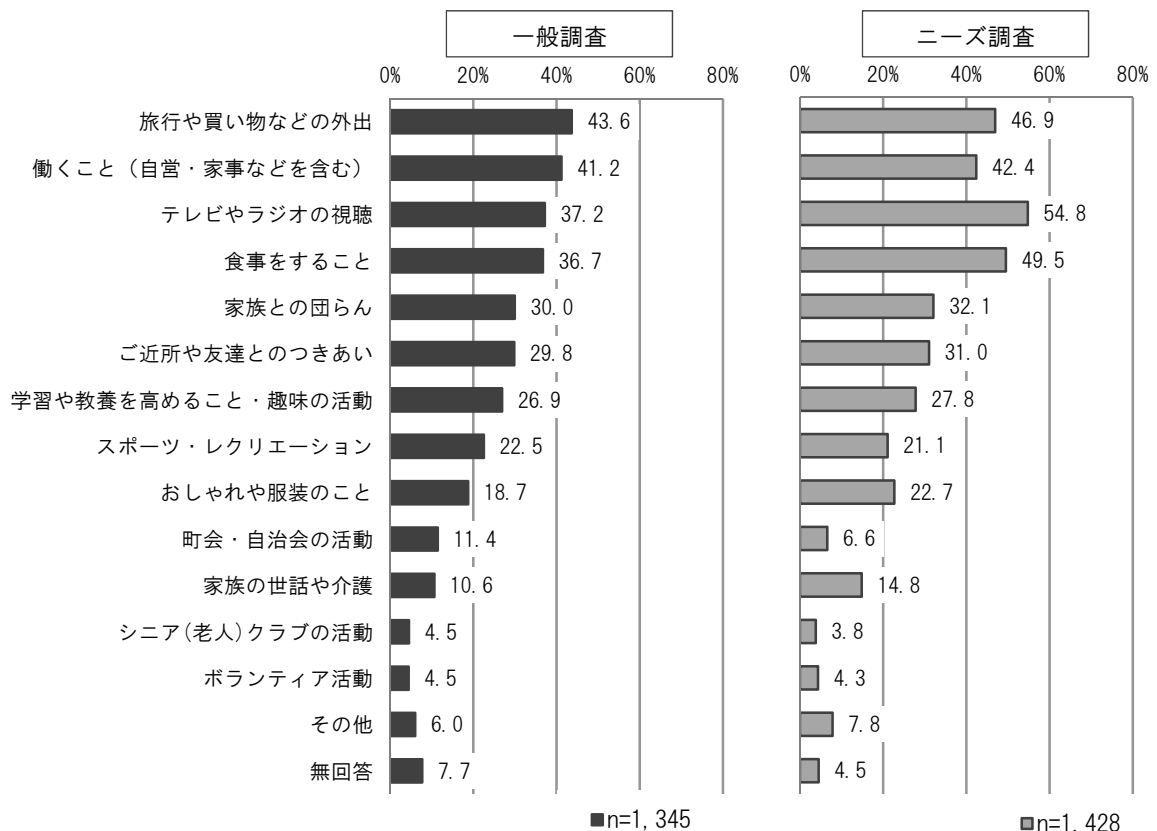
図表 2-11 住宅で困っていること（複数回答）〔一般：問14、認定者：問17〕



4 生きがいについて

▶「生きがい」を感じていることは、『一般調査』では「旅行や買い物などの外出」43.6%、「働くこと（自営・家事などを含む）」41.2%、『ニーズ調査』では「テレビやラジオの視聴」54.8%、「食事をすること」49.5%

図表 2-12 「生きがい」を感じていること（複数回答）〔一般：問24、ニーズ：問11(3)〕

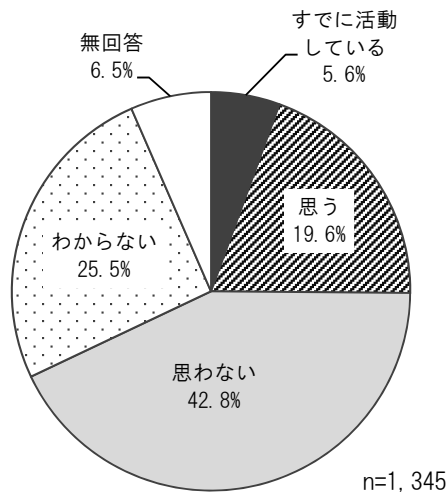


5 地域とのかかわり・地域住民によるサービスについて

一般調査

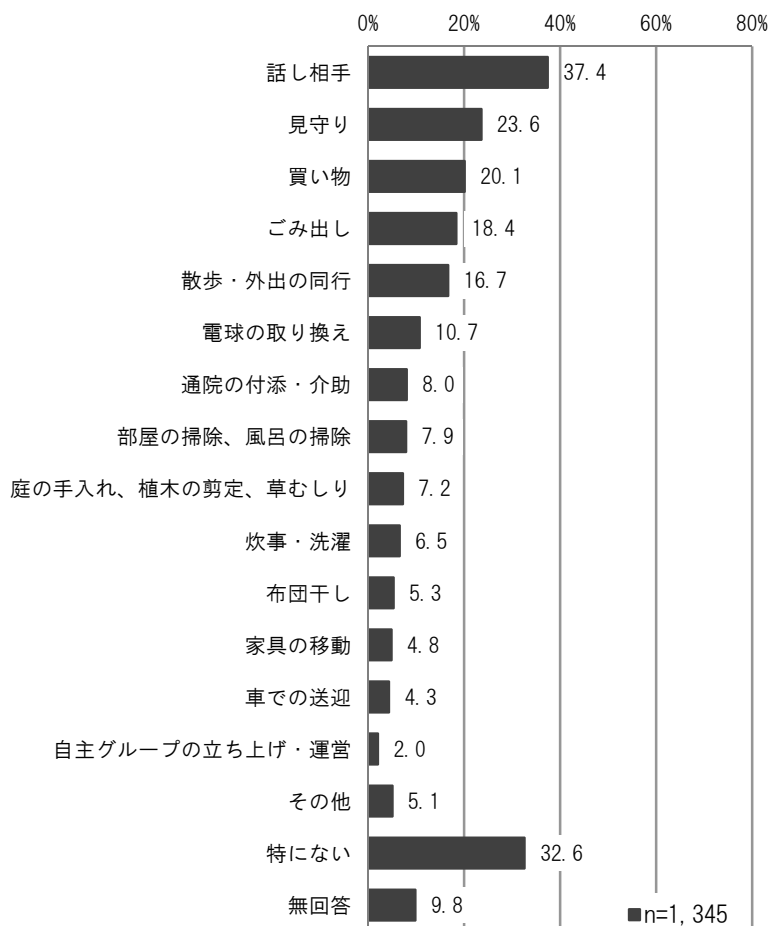
▶地域で支援を必要とする高齢者の支え手としての活動意向は、「すでに活動している」が5.6%、活動したいと「思う」は19.6%、一方、「わからない」が25.5%、「思わない」が42.8%

図表 2-13 高齢者の支え手としての活動意向〔問 19〕



▶地域で支援を必要とする高齢者の支え手としてできることは「話し相手」が37.4%、「見守り」が23.6%、「買い物」が20.1%

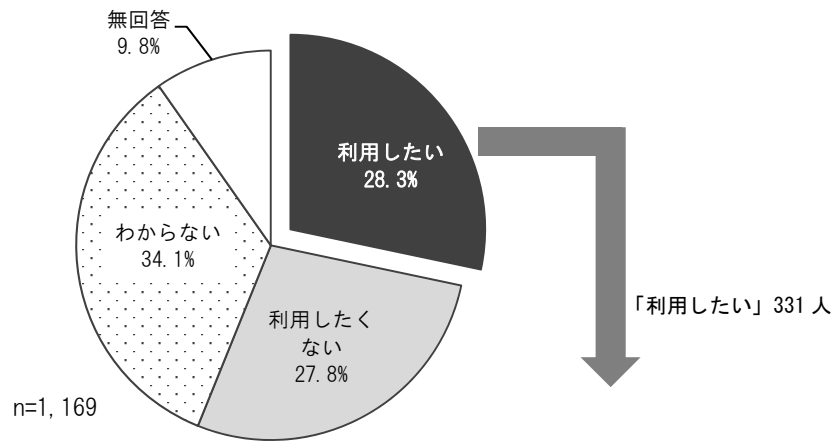
図表 2-14 高齢者の支え手としてできること（複数回答）〔問 20〕



認定者調査

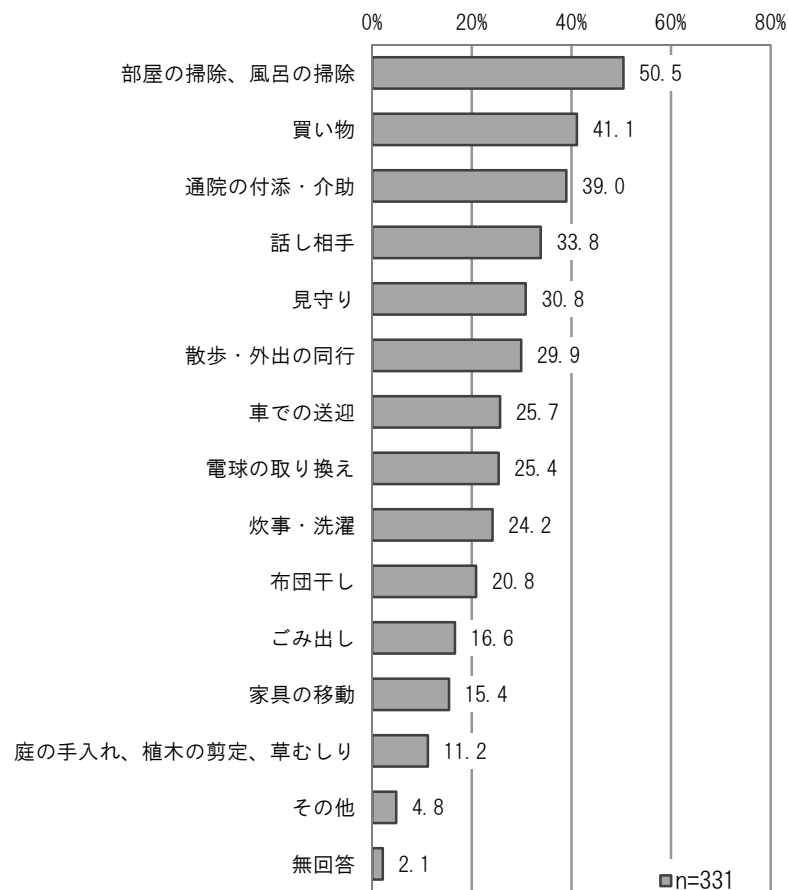
▶ 地域住民による生活援助のサービスの利用意向は、「利用したい」が28.3%

図表 2-15 地域住民による生活援助のサービスの利用意向〔問 32〕



▶ 地域住民によるサービスを「利用したい」と回答した 28.3% (331 人) のうち、利用したいものは「部屋の掃除、風呂の掃除」が50.5%、「買い物」が41.1%、「通院の付添・介助」が39.0%

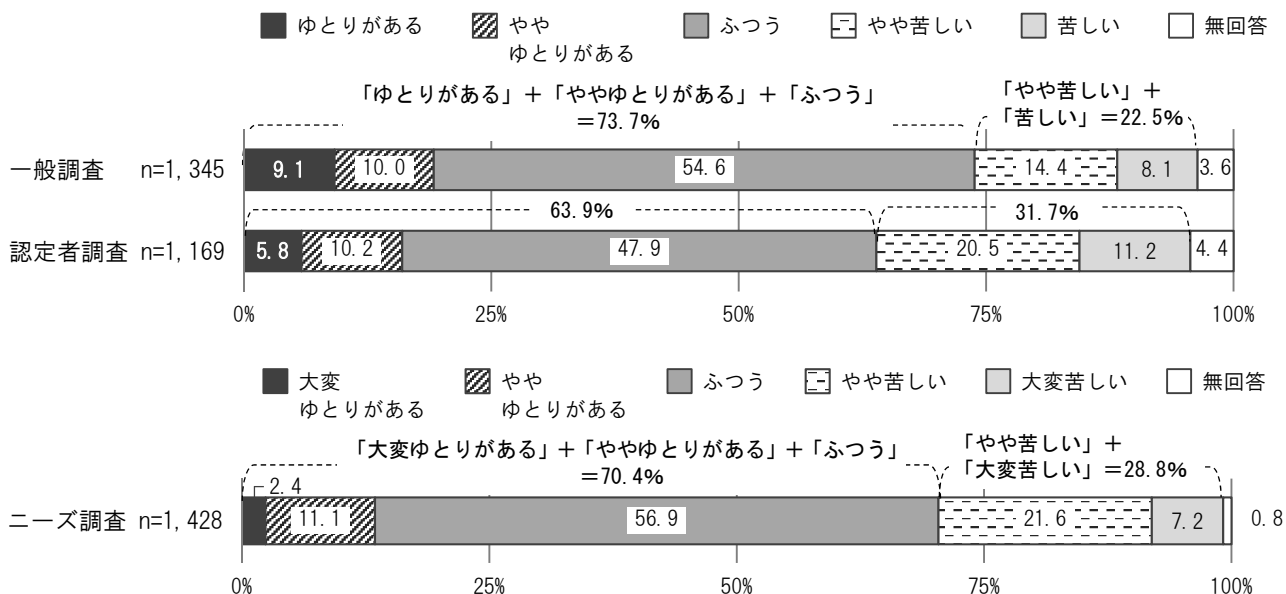
図表 2-16 地域住民によるサービスで利用したいもの（複数回答）〔問 32-1〕



6 暮らし向きについて

▶ 経済的にみて、現在の暮らしは、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」「ふつう」を合わせると『一般調査』が73.7%、『認定者調査』が63.9%、『ニーズ調査』は70.4%

図表 2-17 暮らし向き〔一般：問 28、認定者：問 10、ニーズ：問 4 (3)〕

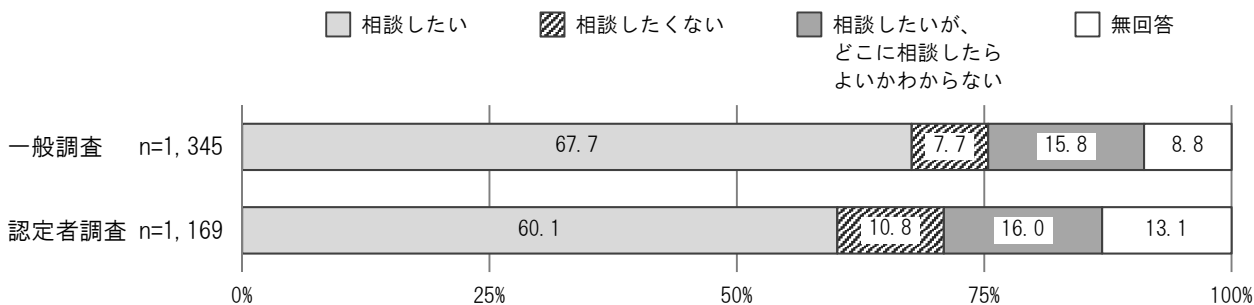


7 認知症について

(1) 認知症について家族以外に相談する意向

▶ 認知症になった（かもしれない）ときに、家族以外に「相談したい」は、『一般調査』が67.7%、『認定者調査』は60.1%

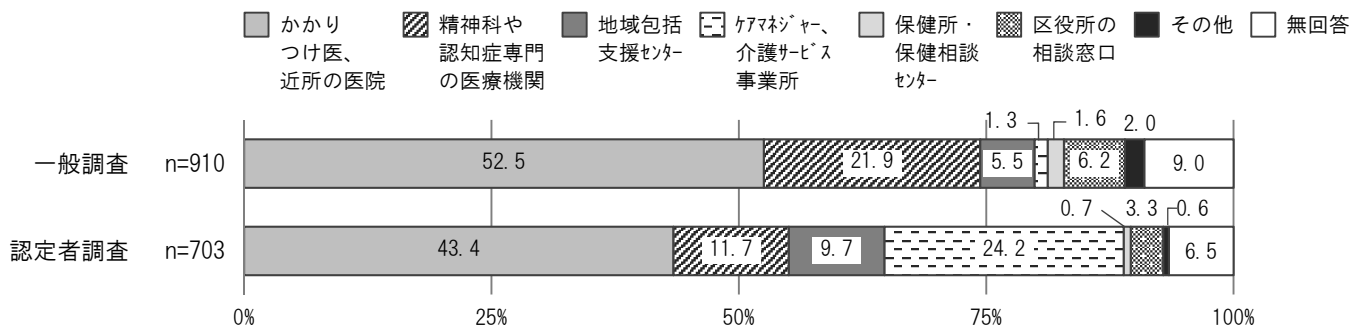
図表 2-18 家族以外への相談意向〔一般：問 31、認定者：問 23〕



(2) 認知症について家族以外に相談する場合の相談先

▶ 家族以外の相談先で「かかりつけ医、近所の医院」は、『一般調査』が52.5%、『認定者調査』は43.4%

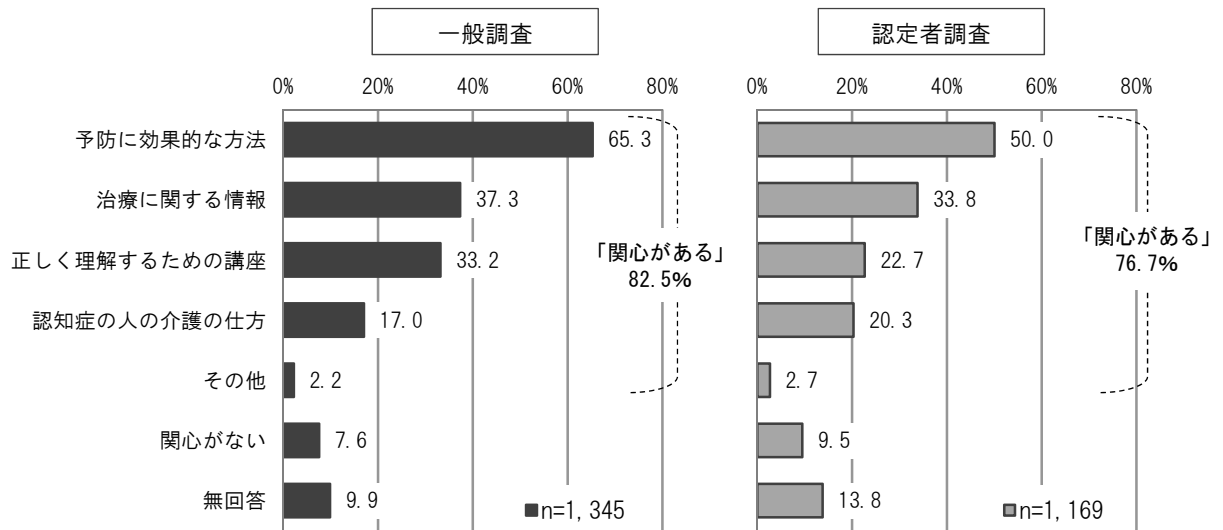
図表 2-19 家族以外に相談する場合の相談先〔一般：問 31-1、認定者：問 23-1〕



(3) 認知症のどんなことに関心があるか

▶ 認知症について「関心がある」は、『一般調査』が 82.5%、『認定者調査』は 76.7%

図表 2-20 認知症のどんなことに関心があるか（複数回答）〔一般：問 32、認定者：問 24〕



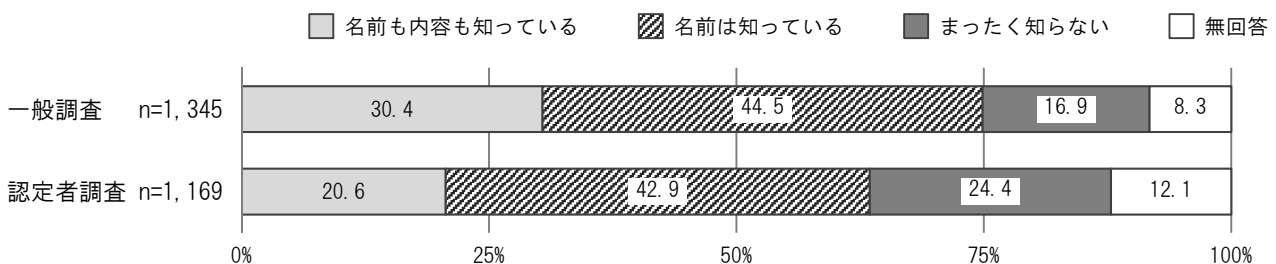
※「関心がある」=100%−「関心がない」−「無回答」

8 成年後見制度について

(1) 成年後見制度の認知度

▶ 成年後見制度について「名前も内容も知っている」は、『一般調査』が 30.4%、『認定者調査』は 20.6%

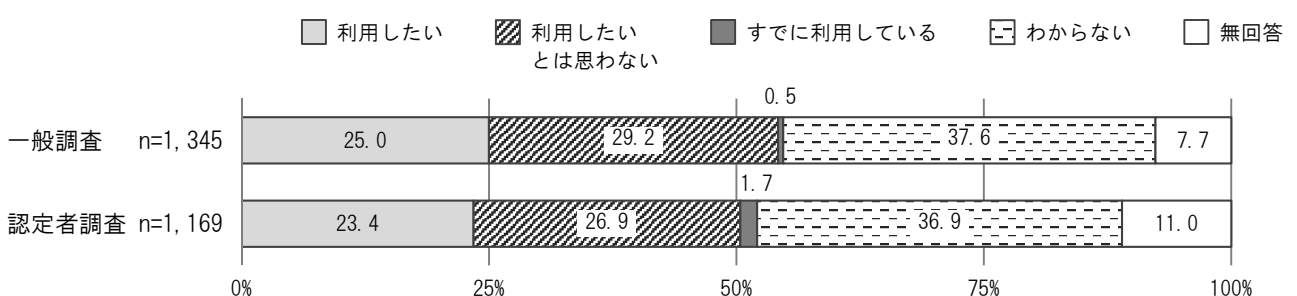
図表 2-21 成年後見制度の認知度〔一般：問 33、認定者：問 25〕



(2) 成年後見制度の利用意向

▶ 認知症などにより判断能力が十分でなくなってきた場合に、成年後見制度を「利用したい」は、『一般調査』が 25.0%、『認定者調査』は 23.4%

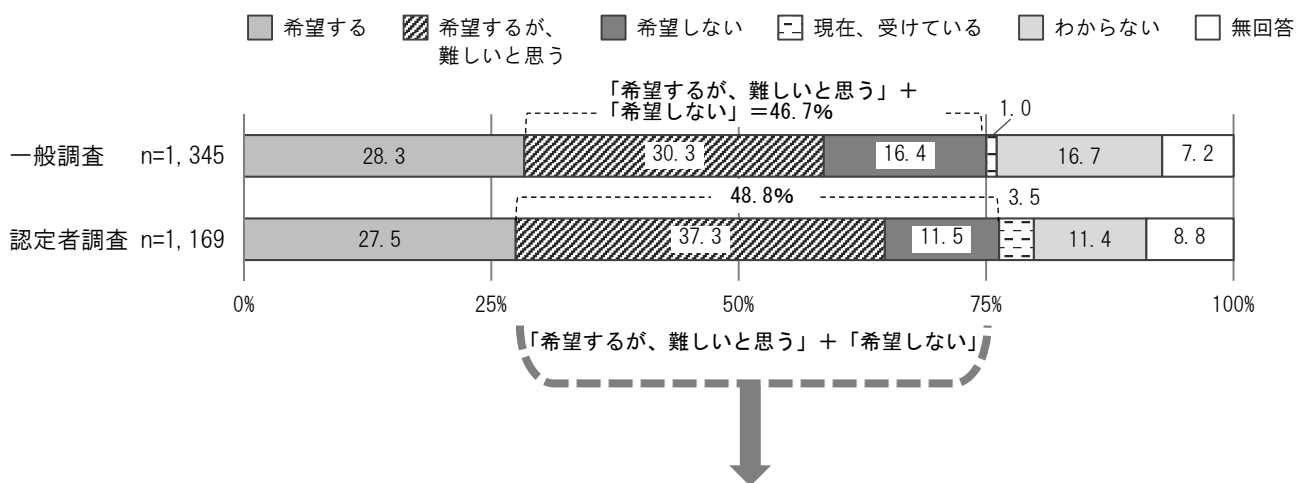
図表 2-22 成年後見制度の利用意向〔一般：問 34、認定者：問 26〕



9 在宅療養について

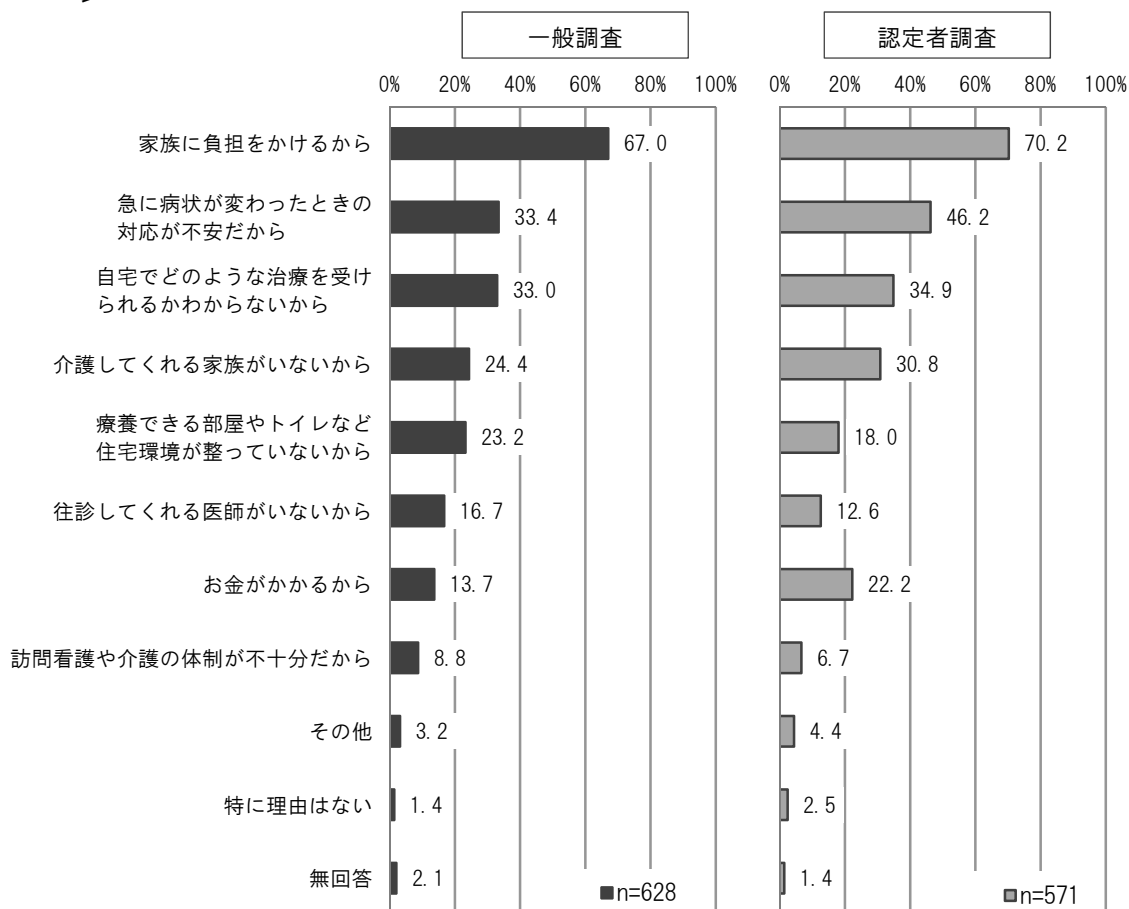
▶ 病気やけがで長期の療養が必要となり、通院が困難になった場合、在宅療養を「希望する」は、『一般調査』が 28.3%、『認定者調査』は 27.5%

図表 2-23 在宅療養の希望〔一般：問 35、認定者：問 27〕



▶ 在宅療養を「希望するが、難しいと思う」「希望しない」と回答した人のうち、その理由は「家族に負担をかけるから」が、『一般調査』は 67.0%、『認定者調査』は 70.2%

図表 2-24 在宅療養を希望しない、または難しいと思う理由（3つまで）〔一般：問 35-1、認定者：問 27-1〕

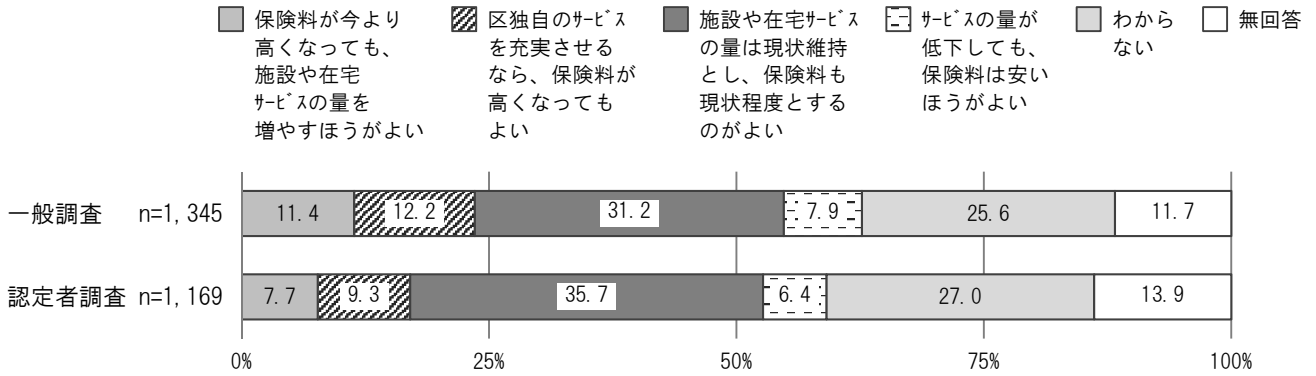


10 介護保険制度について

(1) 介護保険料とサービスについて

▶介護保険料とサービスは、「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状程度とするのがよい」が最も高く、『一般調査』が31.2%、『認定者調査』は35.7%

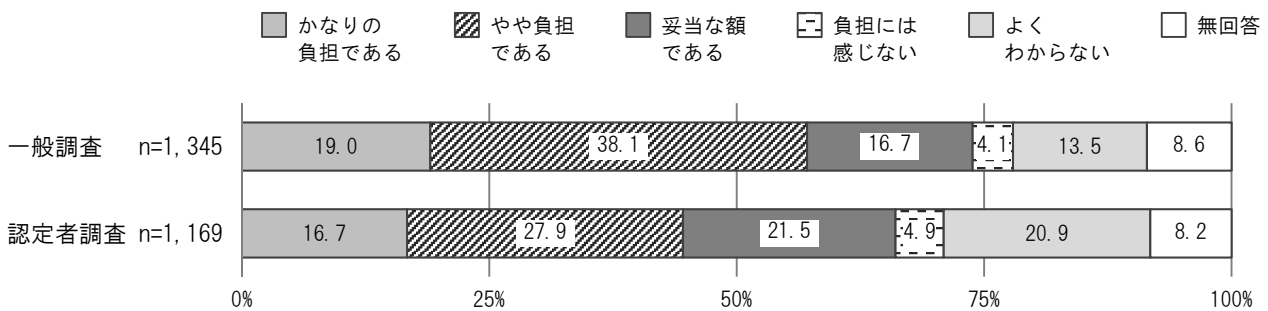
図表 2-25 介護保険料とサービスについて〔一般：問38、認定者：問29〕



(2) 介護保険料の額について

▶介護保険料の額について「やや負担である」が最も高く、『一般調査』が38.1%、『認定者調査』は27.9%

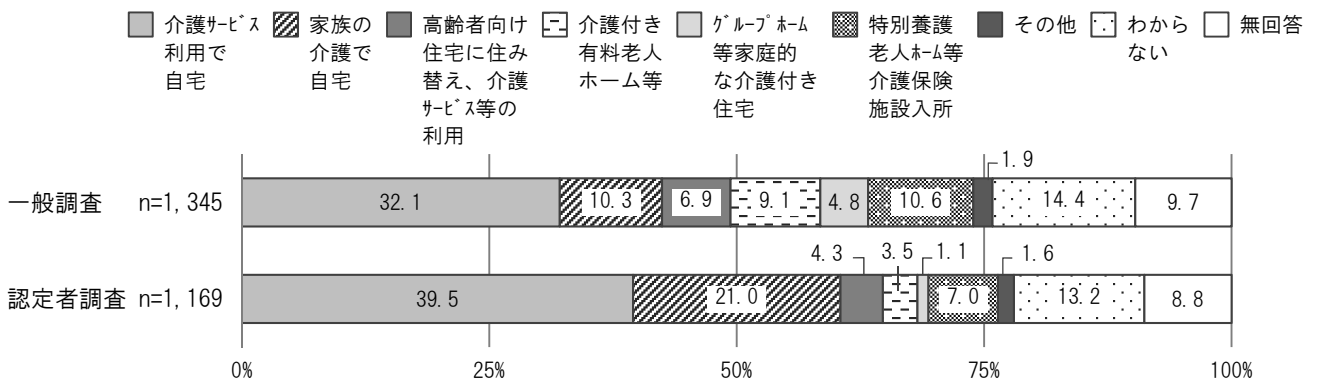
図表 2-26 介護保険料の額について〔一般：問39、認定者：問30〕



(3) 今後希望する暮らし方

▶今後介護が必要となった場合、希望する暮らし方は、「介護サービス利用で自宅」が最も高く、『一般調査』が32.1%、『認定者調査』は39.5%

図表 2-27 今後希望する暮らし方〔一般：問40、認定者：問31〕



11 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策

▶ 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策は、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」が最も高く、『一般調査』では 50.6%、『認定者調査』では 35.7%

図表 2-28 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策（複数回答）〔一般：問 43、認定者：問 33〕

